

中国大陸の販売網を足掛かりに、血液透析器で 兩岸市場を同時に開拓する禾研科技

医療機器の製造・販売で、新たなビジネスモデルの構築に取り組む禾研科技（以下、禾研）。医療機器の代理販売から機器製造へと事業拡大をし、人工透析に使うダイアライザー（血液透析器）の分野で中台兩岸市場の開拓を目指している。中国の医療改革と自社の事業分野拡大を機に、台湾に回帰投資を行い、血液透析器の研究開発（R&D）と生産に着手し、台湾初の血液透析器メーカーとなった。今回は禾研科技の創業者で、台湾最大の医薬品商社「禾利行」のオーナー一族の出身である鄭文一董事長を訪ね、これまでの事業展開と現在の取り組みについてお話を伺った。



禾研科技創業者、鄭文一董事長

—中国での事業展開について

当社は、2002年に中国に進出し、上海を主要拠点として医療機器商社として事業を開始し、現在は、テスト生産（透析液と血液透析器）、代理販売（人工透析関連の医療機器）、透析センターのコンサルティングと運営（マネジメントソフトウェア開発と透析センターの運営支援）の3つの主要事業を行っています。2012年の売上高は1億5,000万人民币に上り、設立10年間の事業活動により、中国国内の大都市から内モンゴル、ウイグル自治区までをカバーするきめ細かな拠点ネットワークを築き上げています。

—商社からメーカーへの事業転換の状況と背景について

2009年から中国では「医療衛生体制改革近期重点实施方案」を実施し、血液透析治療を医療保険の給付対象としました。これにより、中国の血液透析器市場が本格的に拡大を始めましたが、当機器を生産できるメーカーは、世界でもドイツや日本の大手メーカーを含む数社しかありません。

当社は、中国で血液透析器の販売に携わっており、当製品の市場について精通していたため、この分野のプレイヤーが少なく、専門家や関連企業と連携することで、自社ブランドの血液透析器を開発し市場参入できると考えました。

また、医療機器生産へと事業展開するに当たり、台湾政府から補助金や優遇措置を受け、台湾にR&Dおよび生産拠点を設立しました。これにより、当社は台湾で初めて医療機器販売から機器製造に事業拡大した企業となりました。

現在台湾に、運営本部と工場2拠点を構えています。1つは、南部サイエンスパークの工場で、血液透析器のテスト生産を行う予定です。現時点では、自社製品のみを手掛ける予定ですが、将来的にはOEM生産も視野に入れています。もう1つは、苗栗県の台塩通霄工場で、製塩大手「台塩実業」と提携して透析液を生産しています。当社は、商社からスタートしたため、生産面での経験不足を専門家や関連他社とアライアンスを結成することで補い、共同で市場開拓を進めています。

—台湾市場の状況と課題について

台湾を含む東アジア地域では腎臓病の発症率が高く、血液透析機器分野で大きな潜在市場が存在します。台湾には現在、約7万人の血液透析器利用者がおり、年間800万回分の消耗材を必要としています。台湾の市場規模は約380億台湾元であり、中国市場はその30倍と推計されています。

それでも、今まで台湾に血液透析器メーカーが存在しな

台湾トップ企業

かった理由は、基幹部品を製造するメーカーの不在でした。血液透析器の基幹部品である「中空糸膜（ちゅうくうしまく：濾過機能をもつ中空繊維で、水処理や浄水器に使用）は、血液透析器の総コストの50%を占め、この部分を内製しない限り、機器メーカーとして利益が出にくい構造になっています。世界の血液透析器大手メーカーは、国内に最先端の化繊・プラスチック産業の後ろ盾があり、中空糸膜を内製できる環境があります。

台湾の化繊・プラスチック・金型産業も相対的に強く、将来的に中空糸膜の内製を行うことは可能だと考えています。ただ、台湾化繊・プラスチック・金型企業の多くは医療市場の情報網とその末端販路が整備されていないため、これまで自社のリソースを医療市場に利用する事を考えてきませんでした。

禾研の強み

当社の強みは、上記産業の台湾企業が持ち合わせていない、医療市場の情報力と販路を併せ持っている点です。中国における10年以上の事業展開を通じ、販売網を持ち、中国市場の特徴を把握しています。これを台湾が有する化繊・プラスチック・金型産業の強みとリンクさせることで、巨大な中国血液透析器市場における事業展開が可能になります。

また、製造技術の獲得のため、台湾をR&Dと生産の中心拠点とし、ドイツ企業の買収を通じて技術、設備、人材面から生産体制を整えています。

今後の事業展望について

現在、中国で人工透析に給付される健康保険は400人民元前後で、世界各国の給付水準に比べ低くなっています。この給付水準がボトルネックとなり、高価な血液透析器の導入に積極的な病院が少なく、市場全体の需要が他国に比べ少なくなっています。当社ではこの現状を踏まえ、今後中国市場での主流は中低価格の血液透析器だと考えており、事

業を当分野に徐々に集中させています。

また、台湾での工場設置にあたり、医療機器の認証取得には極めて長い期間を要するため、中国でも同時に生産拠点の設置を進めています。透析液は長距離輸送に向かないため、中国市場向けの透析液は台湾拠点で製造せず、中国での生産を考えています。

今後は、台湾をR&Dと半製品の生産拠点とし、中国は組み立てや透析液の生産拠点とする予定です。中台それぞれのGMP認証制度に対応しつつ、コストを極力抑えながら、迅速な対応が必要な量産・販売のニーズに応えていきます。

現時点では、事業を開始して間もない段階ですが、台湾拠点では、今年上半期にテスト製品の生産に入り、年内にGMP認証の取得を目指します。今後の事業をスケジュール通りに進め、初の台湾製の血液透析器を早い段階で市場に送り出せると信じています。

ありがとうございました。

禾研科技の基本データ

会社名	禾研科技股份有限公司
設立	2009年（中国拠点は2002年設立）
董事長	鄭文一
資本金	1億元
売上高	7億1,200万台湾元
社員数	台湾17名、中国160名
事業内容	医療機器販売 血液透析器と透析液の生産

出所)公開資料及びヒアリングよりNR1整理